

九州大学病院

研修医 哲翁 華子 2018年2月

九州大学病院初期研修医2年目の哲翁 華子と申します。

2018年2月の一ヶ月間、初期臨床研修プログラムの地域医療として、出水総合医療センターで研修をさせて頂きました。

高尾野診療所、野田診療所、上場診療所、出水保健センター施設、出水総合医療センターでは外科を中心に研修を行いました。

各診療所では、外来での慢性疾患のフォローや検査（心エコー、腹部エコー、上消化管内視鏡）を中心に経験しました。患者さんを取り巻く環境にも触れつつ診療に携わっていたのが印象的でした。

往診では、診療所に来るのが困難な環境にいる患者さんの診療も経験しました。日頃は簡単にオーダーできる検査も十分に行えない状況で、患者さんに必要なことは何かを総合的に判断し、医療を提供することは非常に難しい経験でした。

院内研修では外科を選択し、急性虫垂炎や胆石症など多くの症例を経験しました。良性疾患が多い中、胃癌や直腸癌等の悪性の手術症例もあり、地元で根治手術を受けることが出来ることは地域住民の安心や負担軽減につながっているのではないかと実感しました。また、違う施設でのやり方を見られたのは勉強になりました。

保健センターでは、母子の健康、その他多くの悩みに関する相談に来るのを待つのではなく悩みを抱えている人を見つけて相談にのるよう心がけている取り組み方も非常に印象に残っています。行政と地域住民が、非常に近いところで関わり合い、健康を維持・増進させているのだと実感できました。

また出水医療センターでは医療安全室、地域連携室、リハビリテーション技術科、検査室などの多職種における研修もさせて頂きました。限られた人材、医療資源の中で安全で適切な医療を提供するには、個々の能力が十分に備わっていることに加え全ての職種の方々や他科の先生との連携が必要不可欠と考えられました。多職種の仕事内容を研修出来たことは、医療の中で自分が果たす役割を再確認できる機会ともなりました。

私は、4月より地元長崎で外科研修医としてスタートすることになります。出水での経験を生かし、自分にできることは何か、その場所で必要とされているものは何かを常に考えながら日々勉強して行きたいと思います。

最後に、地域研修担当の宗清先生、花田先生をはじめとする外科の先生方、各科の先生方、各診療所の先生方、コメディカルの方々、職員の皆様本当にありがとうございました。